

公共施設等マネジメントサイクルの実現を目指した「公共施設等総合管理計画」を策定しました

公共施設等の安全・安心を確保するとともに、最適かつ持続可能な公共施設等のサービスを目指します

背景

■国の動向

中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を契機に、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿化基本計画」を定め、平成 26 年 4 月には、公共施設等を総合的かつ計画的に管理するための「公共施設等総合管理計画」を速やかに策定するよう、地方公共団体に対し要請を行いました。

■焼津市の取組

焼津市では、人口の増加や行政需要の拡大などを背景に、主に昭和 40 年代から 60 年代にかけて公共施設等の建設・整備が行われており、公共施設等の老朽化や今後の人口減少や人口構成の変化に対応した公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進します。

目的

①施設需要の変化に応じた質と量の最適化

人口減少、人口構造の変化やライフスタイルの多様化等、市民ニーズの変化に対応した公共施設等の最適な質と量を維持します。

②事後保全から予防保全へ転換

計画的な予防保全を講じることにより、公共施設等の長寿化を図るとともに、将来にわたり安心・安全に利用できる状態を維持します。

③財政負担の軽減と平準化

公共施設等の再編や改修・更新の効率化や時期の分散化などにより、財政負担の軽減と平準化を図ります。

課題

①公共施設等の将来更新費用の算出

将来の人口、人口構造の変化や公共施設等の将来更新費用を総合的に捉えることが課題です。

②公共施設等の維持管理方針とマネジメント

公共施設等の将来更新費用算定とその平準化が課題です。より一層の財源縮減が望まれる状況で、私的な公共施設等の総合的視点、また施設ごとの管理方針をどのように定めるのかが課題です。

③財産負担に資する市有資産の有効活用

公共施設等の管理を今までよりもさらに効率的かつ効果的に実施し、財政負担の軽減に資する低利用・未利用の市有資産は民間活用を図り、充当可能な財源に割り当てる方策が課題です。

基本理念

■質と量の最適化

品質、供給、財務の3つの視点から、質と量の最適化に取り組みます。

■公共施設等総合マネジメントの推進

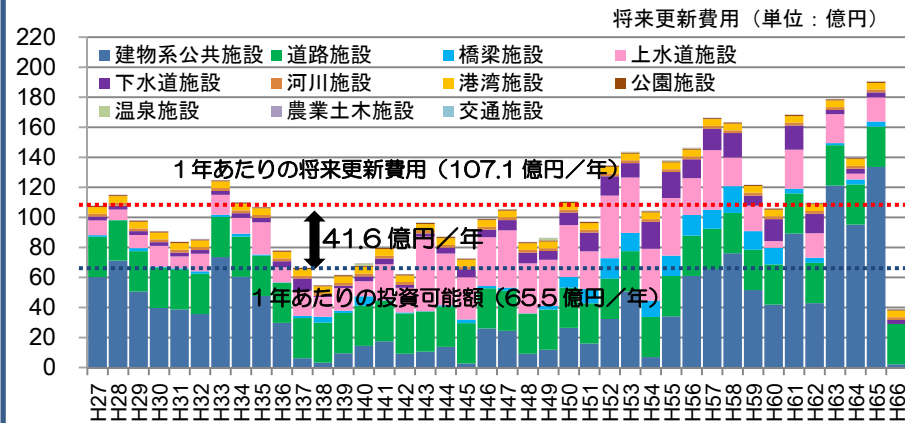
公共施設等の全体像を把握し、市民の安全や生活を守る観点から、総合的なマネジメントに取り組みます。

■市民との問題意識の共有化

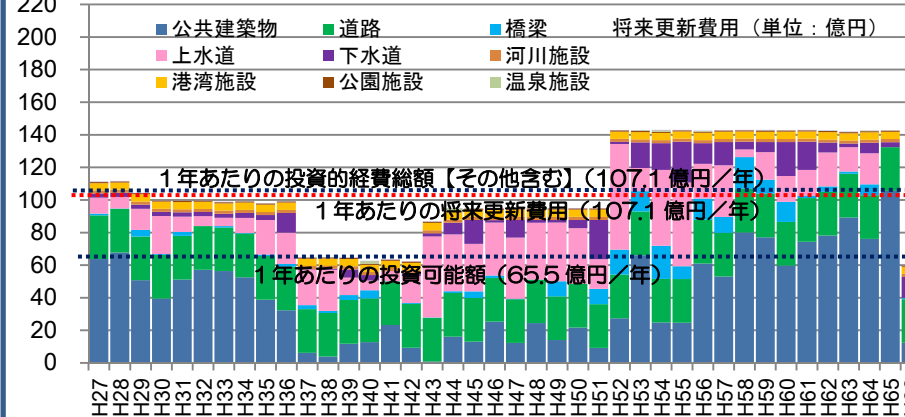
公共施設等の大切な資産と捉え、市民と問題意識を共有しながら、公共施設等の将来の方向性の確立に向けて取り組みます。

将来更新費用の算出と平準化

建物系公共施設と土木インフラ施設の将来更新費用



建物系公共施設と土木インフラ施設の将来更新費用 (平準化)



公共施設等の維持管理方針

【公共施設等の総合的管理に関する基本方針】

(1) 点検・診断等の実施方針	施設の劣化及び機能低下を防ぎ、施設等が安心、安全かつ快適に利用できるよう、定期的な点検・診断等を実施します。
(2) 維持管理・補修・大規模改修・更新等の実施方針	予防保全型の計画を策定し、計画に則った点検、診断、維持、補修及び更新を行います。これらの情報を記録し、集積・蓄積するため、統合データベースを活用して管理します。
(3) 長寿命化の推進方針	ライフサイクルコストの縮減も視野に入れた長寿命化を推進します。
(4) 廃合等の推進方針	防災対策、人口動向などの視点の定性的な分析を勘案し、施設の集約化・複合化・統廃合・廃止も視野に入れた再編を計画的に推進します。
(5) 民間活力の活用方針	PFI やコンセッション方式、あるいは指定管理者制度、包括的民間委託等の導入について検討し、民間ノウハウ、資金等を最大限活用します。
(6) 余剰資産の利活用方針	積極的に民間への貸し付けや売却を図り、まちの活性化を実現するとともに、売却益財源に充当していきます。
(7) 民間提案を受け入れる仕組みの構築方針	民間からの提案を積極的かつ効果的に受け入れる仕組みを構築します。
(8) 広域的な連携の取り組みの方針	近隣自治体と施設を共同で利用し合うことで、相互に機能を補完するとともに、行政サービス向上と経費の削減を図ります。さらに、広域的な取り組みの可能性やあり方を統合データベースを活用して取り組みます。

【施設類型ごとの管理に関する基本方針】

(公共施設等の管理に関する基本的な方針の項目)

①点検・診断等の実施方針
②維持管理・修繕・更新等の実施方針
③安全確保の実施方針
④耐震化の実施方針
⑤長寿命化の実施方針
⑥統合や廃止の推進方針

公共施設等マネジメント PDCA サイクル

